

# トランポリン シャトル競技

| 38種目<br>内訳 | 立つ    | 1/2捻り立つ | 1/2捻り跳び<br>(ハーフピルエット) | 1回捻り跳び<br>(ピルエット) | 抱え跳び | 開脚跳び | 閉脚跳び | 腰落ち | 1/2捻り腰落ち | 1回捻り腰落ち | 膝落ち | 1/2捻り膝落ち | よつんばい落ち | 1/2捻りよつんばい落ち | 腹落ち | 1/2捻り腹落ち | 1/2横回り腹落ち<br>(ターンテーブル) |
|------------|-------|---------|-----------------------|-------------------|------|------|------|-----|----------|---------|-----|----------|---------|--------------|-----|----------|------------------------|
|            | 垂直跳び→ |         |                       | ○                 | ○    | ○    | ○    | ○   | ○        | ○       | ○   | ○        |         | ○            |     | ○        | ○                      |
| 腰落ち→       | ○     | ○       |                       |                   |      |      |      | ○   | ○        | ○       | ○   | ○        | ○       | ○            | ○   | ○        |                        |
| 膝落ち→       | ○     |         |                       |                   |      |      |      | ○   | ○        |         | ○   |          |         |              | ○   |          |                        |
| よつんばい落ち→   | ○     |         |                       |                   |      |      |      | ○   | ○        |         |     |          | ○       |              | ○   |          |                        |
| 腹落ち→       | ○     |         |                       |                   |      |      |      | ○   |          |         | ○   |          |         |              | ○   |          | ○                      |

腰落ち→1/2捻り腰落ち (スイブルヒップス)

腰落ち→1回捻り腰落ち (ローラー)

## 勝負の判定

次のような時「アウト」とし、相手選手の勝ちとなる

1. 連続運動を間違えた場合
2. 定められた38種目以外の種目を使用した場合
3. ベッドのはね上げ力が消失した場合
4. 2回の警告を受けた場合
5. 3回の注意を受けた場合
6. 対戦中にフレーム・スプリング等ベッド以外の物に触れた場合 (演技者・待機者共に)

3分間の対戦で勝負 (アウト) の決着がつかなかった場合

警告の有無 (注意1つだけだと関係なし)

警告が同位の場合は、技の確実性 (安定度) ・高さ・こなしの綺麗さ等を比較し、判定する (判定は、主審・副審・記録主任の協議により、主審が発表する)

## 警告

2回の警告をもってアウトとなる

1. 主審が相手選手の行った種目を発声表示しても予備跳躍を開始せず  
そのことが本人の演技を有利にすると判断した場合
2. 11本以上予備跳躍をした時
3. 有効種目で片足着地をした時
4. 演技中の私語 (審判員、その他の人々に話し掛けた時及び話し掛けられた時)

## 注意

2回の注意をもって警告とし、3回目の注意及び新たな警告をもってアウトとなる

1. 演技中に奇声を発した時
2. 余分な種目をした時 (ツウ・バウンスの言い忘れを含む) ただし最後の立つは認める
3. 予備跳躍のやり直し (ずっこけを含む)

※ 3分経ち判定結果がまだ出ていない時でも選手が演技台から降りてもアウトにならない

※ 抗議はその対戦終了後、次の対戦の始まる前に行う (団体戦では監督が行う)